



タウンカフェの魅力ってなんだろう・・・？
ボランティアとして通い続けたいくなる理由ってなんだろう・・・？

対談

そこで、タウンカフェに関わっているたくさんのボランティアの中から、オープン当初から活動している杉浦さん（以下：杉）と最近仲間入りした山本さん（以下：山）にお話を伺いました。

（左）山本紫織さん、（中）杉浦真知子さん、（右）加藤麻由さん：聞き手

8年目のボランティア対談

——ここにくるようになったきっかけは？

山本 タウンカフェのことは授業のフィールドワークで知りました。初めて行ったのに何時間も話してくれて…。そして、一緒に横浜のまちづくりに関わりたいと思って、HPを見てテント村に参加したんです。それでいつの間にかボランティアになっていました。

杉浦 私はタウンカフェが仕入れている中国茶のお茶屋さんに、客として通ってたんです。そこでよく話していた店主から紹介され、ボランティアを始めました。9年目に入ってもあんまり変わらないんですよ。わたしは、お客さんと話していると元気をもらえるんです。そして斉藤さんの、被災地を含め地方の方との関わる活動も新鮮です。

——杉浦さん、魅力体感ツアーの時も一番楽しそうでしたね？

杉浦 あははは、そうかもしれません(笑)

…要は、私は人と話をするのが好きなのだと思うんです！自分に影響を与えてもらっているという感じが、居心地がいいんですよ。

——タウンカフェに来るの楽しい？

山本 楽しいですよ！私も大学生の間だけでなく、何年も続けていけたらと思います。ただ…朝が弱いんですよ(笑)

杉浦 私も！でも朝の掃除を仕事としていると、朝も起きられるようになります。健康にもつながるし、楽しむことが大事だね。

山本 そうですよ、朝起きられない私が来られるのも、楽しみがあるからだと思うんです。ここを知った時、たくさんのことをやっているとすごいと思いましたし、タウンカフェには色々な可能性があって、ただの居場所だけではないと感じています！

杉浦 そう、そしてボランティアだからこそ、人の役に立ったり感謝されたときは嬉しいですよ。お客

さんだけじゃなくて、スタッフ同士の声かけも皆さん欠かさない。例えば、イベントのボランティアを募集する時は、よく会う人はもちろん、ご無沙汰の人にもメールを送っていたり。「戻ってこられる場所」ですね。

…お客さんとの挨拶が何度か交わされる中で行われたこの対談。それぞれの目標や課題を持ちつつも、同じボランティアとしてこの港南台タウンカフェに通い、活動内容や大勢の人と関わることに魅力を感じながら、みなさんを尊敬しあう姿が共通していました。そこに、タウンカフェに通い続ける理由があるのかもしれない。様々なきっかけでここに集まった人々の熱い思いが、今後も港南台タウンカフェを盛り上げてくれそうです！

(2014年2月15日)

港南台タウンカフェ 8年目の あゆみ



REPORT

2012.10—2013.9

サポーター募集

市民や団体が主体的に取り組む、公益性の高い港南台タウンカフェの活動や事業を支えるため、運営の資金的支援をお願いしています。

■費用の使途○市民レポーター養成○港南台タウンカフェ通信(ふ〜のん・会報誌など)発行○地域情報サイト「こうなんだい e-town」運営○人材発掘と育成研修など

■サポート費用 一口1,000円(年間)
*複数口も歓迎*団体・企業は10口以上でお願いしています。☆別途資料があります。詳細はお問い合わせ下さい。

タウンカフェサポーターのみなさま

・サポーター法人

金子内科診療所
株式会社ホームイング神奈川
吉田歯科クリニック
株式会社豆彦
株式会社 SUISHAYA ジアス港南台

・サポーター個人

相場正史/杉浦真知子/枝光美音/村上佳江
三枝伸一/山本京子/藤野由美子/杉山厚子
他匿名3名
(順不同・敬称略)
*2013年度(2013.12末現在まで)のご登録活動を支えて下さりありがとうございました☆

DATA

- 運営
 - ・株式会社イータウン
 - ・横浜港南台商店会
 - ・まちづくりフォーラム港南
- 3団体が連携協力して港南台タウンカフェ事業運営を行うとともに、事務所をタウンカフェ内に設置して、地域交流・地域活性化活動を実践。
- 面積 72.73㎡(約22坪)
- 開設 2005年10月15日
- 事業 小箱ショップ/カフェサロン/貸しスペース/貸しギャラリー/情報発信/まちの事務局機能/港南台テント村などのイベント企画運営/タウンシェフ養成(人材育成)

- 運営スタッフ
 - ・有償スタッフ 8名
 - ・ボランティアスタッフ 約20名登録
 - ・長期インターン 2名
- 港南台タウンカフェ運営コスト
 - 年間事業高:15,661,600円(2012年度売上)内訳
 - ・補助金:1,360,000円(港南区民活動支援センターランチ事業)
 - ・サポーター:124,000円(2013年度タウンカフェサポーター)

数字でみる タウンカフェの1年 (2012.10～2013.9)

8年目の活動を支えた時間

ボランティア活動時間

1846時間 カフェサロン
686時間 港南台テント村
2532時間 合計

港南台テント村

開催 14回
出展数 416店
(フリーマーケット出店組数)

視察・研修講師

22回



<http://www.town-cafe.jp>

港南台タウンカフェ





港南台タウンカフェ 8年目の活動報告

2012.10~2013.9



キャンドル
ナイト in
港南台

9回目の開催となった今年も、近隣店舗のライトアップ協力とたまたごキャンドルやオイルキャンドルの点灯によって、美しいキャンドルナイトとなりました。今回から新たに小学校の放課後クラブや区民活動支援センターなどが団体として参加したこと、より地域に根ざしたイベントへと変化しつつあります。世代や職種の様々な運営ボランティアと一緒に、キャンドルのやさしいあかりのもとで、エコについて考えてみませんか？

●2013年9月21日(土)開催
場所:港南台テント村、
来場者約450名、ボランティア46名
賛同企業32社、参加団体5団体、
*たまたごキャンドル750個
*オイルキャンドル100個

2013年1月から、毎月1回発行しています。タウンカフェ主催のイベントや、小箱スクエア、音楽通りなど、タウンカフェの今をお伝えする小さなお便りです。時々「日頃のカレンダーがわりに使っている」と言って下さる方がいて嬉しいですね。今後は、よりカフェを身近に感じていただけるような、ちょっと耳よりの話を掲載していけたらと思っています。

タウンカフェ
便り

●A5判 毎月20日発行/各400部



まちの 情報



ふ〜のん

今年も新たな市民レポーターが仲間入りして、第4号を企画編集。まちの人の温かさ、息づかいが伝わるような、こころの距離が縮まる「ふ〜のん」にしよう！という思いで活動してきました。「ふ〜のん」に掲載されている「中学生、仕事人に会う」と題したレポート活動では、港南台第一中学校2年生4名とサポーター2名の計6名で活動。西洋菓子処りあんの店主・敷崎さんと、港南台生き生きプレイパークのプレイリーダー・けいさん取材しました。

●2012年10月15日発行/B5判32ページ(年1回4,000部発行)

【中学生まちを支える活動レポート】
*取材記事がふ〜のんに掲載
*活動時期:2月下旬~4月上旬

キッ×2
交流
ステーション

まちづくりフォーラム港南主催の誰でも参加できる気軽な飲み会です。地元にお住まいの方はもちろん、手づくりに興味がある方や小箱のオーナーさんなどが参加されています。8年目は、他区でまちづくり活動をしている方や行政の方、起業を考えている方の参加が目立ちました。

●毎月第1金曜日に開催(19時から)

夜 カフェ



金曜日の夜、まっすぐ家に帰るのはもったいない。そんな時、カフェでお茶を飲みながら手紙を書いたり、小さな手づくりを楽しめるのが寄り道カフェです。ゆったりタイムを素敵に彩る「音楽通り(BGM演奏)」も楽しんでいただいています。

●毎月第3金曜日に開催(18時~20時まで)



港南台
テント村

たくさんの出会いやつながりが生まれる地域交流拠点「港南台テント村」は、港南台商店会が約20年前から開催してきた地域交流イベント。今年も、学生や市民ボランティアが中心となり、フリーマーケットや様々なイベントを開催。中でも、子どもたちが店長になってフリマを行う「キッズフリマ」や、地元や各地の特産品が大集合する「うまいもんまつり」などのイベントが好評でした。

●毎月2回開催(9時半~14時)
場所:港南台テント村、出店数400コマ以上/年



港南台
地域元気
フォーラム

自治会関係の方、各種委員の方、区民利用施設の方々、市民活動団体...など地域で活躍している様々な方が一堂に会して、まちづくり学んだり、それぞれの活動を紹介し合ったりしました。まちを、そしてそこに住む人を大切に思う人たちが、いろいろな取り組みを知り合い、認め合い、励まし合う、あったかい集いとなりました。北風冷たい帰り道の中はボカボカ!

●2014年2月4日(火)開催。参加人数51人



港南台
国際協力
まつり

横浜 NGO 連絡会と連携し、地域の NGO などの団体と世界各国の食べ物や舞台、衣装を楽しめる国際協力まつり。7回目の開催となった今回も、中高生がボランティアとして活躍してくれました。タウンカフェは、復興支援として大榎町の物産や手づくり小物の販売と、お馴染みのキッズコーナー「スーパードール」で参加し、大賑わいとなりました。あなたも運営ボランティアなどを通して、一緒に世界の文化を楽しんでみませんか？

●8月3日、4日開催。参加団体14団体。場所:港南台テント村

地域交流 活性化 イベント

カフェサロン

お茶を飲むだけでなく、話し合いや研修、小箱スクエアと呼ばれる手づくり教室などでご利用いただきました。

●カフェ利用者: 3525人/年
●貸し切り利用者: 253人/年

ウォールポケット

スタッフ手作りのウォールポケットでは、子育てや、地元のイベント情報、ボランティア情報など、ポケットに入りきらなほどの情報をたくさんお届けしました!

●ちらし数: 132種類



ギャラリー

写真や絵画展、手作りの販売会や市民活動のPRなど、表現活動・情報発信の場として活用していただきました。

●開催回数: 10回/年間

小箱ショップ

ハンドメイドの雑貨やアクセサリ、布小物などが、壁一面にずらりと並ぶ。今年もたくさんの素敵な作品が楽しませてくれました。はじめて出店される作家さんがたくさん仲間入りしました。

●小箱稼働数: 1062棚/年間
●新規出店者: 43人(歴代469人)

被災地支援 プロジェクト

くらし
まちづくり
ネットワーク
横浜

「くらしまちづくりネットワーク横浜」の一員として、被災地の復興支援を行っています。2013年は岩手県大槌町などのコミュニティカフェづくりのハンズオン支援を中心に活動。また、大榎や福島のプロダクサー・地域活動に関わる方々を横浜に招き、まちづくりに対する意見交換や生製品の即売会を行ないました。



東日本大震災直後の3月19日、小箱ショップのオーナーさんから手作りの作品の売上を募金にしたいという提案がありました。手づくり募金は3年間続き、その寄付金は「くらしまちづくりネットワーク横浜~東日本大震災復興プロジェクト」に贈呈されました。

●募金総額127,654円(2013年12月末現在)
*手づくり募金のみで一般募金は除く



手づくり
募金

魅力体感
ツアー in
棚倉町

「魅力体感ツアー」は地域の魅力を知るツアーで、2013年は福島県の棚倉町へ行きました。小箱ショップのオーナーさんや地域の方々に参加し、港南台発着の貸切バスで現地へ向かいます。来年度も実施しますので、ぜひご参加ください。

●2013年11月13日~14日:1泊2日 参加者11名



寄り道
カフェ

8年目の
あゆみ
2012.10~2013.9

2012

- ・10/15 ふ〜のんvol03発行
- ・11/10 うまいもんまつり大榎復興市
- ・12/3~25 小箱ショップクリスマスギャラリ
- ・12/8 まちあるスタンプラリー抽選会 & 大榎町子ども議会



・12/21 クリスマスナイト

2013

- ・1/31~2/1 港南台第一中学校の職業体験受け入れ
- ・2/24 港南区コラボレーションフォーラム
- ・2/25~3/2 手づくり応援市
- ・3/11~14 震災ギャラリー
- ・3/15 横浜市市長表彰賞式(ジョブトレーニング)
- ・3/23 くまヨコお茶こサロン 第1回まちあるミーティング
- ・4/25 横浜・ひと・まち・デザイン賞受賞式
- ・5/13



- ・6/8 港南台テント村キッズフリマ
- ・6/27 港南区施設交流会@港南地区センター
- ・7/7 タウンカフェボランティアスタッフ交流研修会



・8/3~4 港南台国際協力まつり



- ・8/17~18 港南台連合夏まつり参加
- ・9/14 キャンドル作りワークショップ
- ・9/21 キャンドルナイトin港南台2014



- ・10/7~19 手づくり応援市
- ・10/15 ふ〜のんvol04発行
- ・11/8~10 大榎まちづくり人研修@横浜
- ・11/13~14 魅力体感ツアーin棚倉
- ・12/14 まちあるスタンプラリー抽選会
- ・12/20 寄り道クリスマス

- その他、定例開催の活動・事業など
- ・港南台テント村(毎月第2・第4土曜日)
- ・もっ×2交流ステーション(毎月第1金曜日)
- ・寄り道カフェ(毎月第3金曜日)

